

まず、この日伊ビジネスグループ総会において、話をする機会を与えて下さり、ありがとうございます。我々にとってはこれが2回目の参加ですが、21年前にウンベルト・アニェッリ氏がこのグループを設立したかと思うと、とても親近感を抱いております。

できるだけ簡潔に話をまとめたいと思いますが、特に我々が宮城県と進めている協力関係の築き方に焦点を当ててお話ししたいと思います。

約2年、日本と緊密に仕事を進めてきておりますが、これをより確固たる、また継続的な関係にするためにも日本人の採用から始めました。やはり相手の信頼性を勝ち取るためにも、これは大変重要なアプローチだと考えております。別に日本だけというわけではありませんが、日本との関係においてはやはりとても重要です。

昨年、宮城県の中小企業との交流の可能性を探るために、3つのステップを考えました。まず公的機関のレベルからスタートし、大学機関などを通じ、最終的には企業まで近づくといいものです。1つ目から3つ目のステップは明確だと思いますが、2つ目のステップがちょっと不透明かもしれません。現在我々が進めているのはトリノ工科大学と東北大学の活発な交流です。両大学はナノテクノロジーにおいて素晴らしい学部を擁しており、特にトリノ工科大学はペーリ教授のコーディネートの下に、ナノテクノロジー研究においてイタリア有数の研究機関でもあります。これは非常に重要なことで、トリノ工科大学は研究予算の約75%を、欧州連合の援助などを通して市場から得ています。これは日本企業にとっても興味を持ってもらえるチャンネルで、そこから何らかの発展が考えられます。

ここで、我々は既にいくつかの活動を行っています。2010年は特に活発になってきており、ちょうど今日トリノ工科大学の方と話をしましたが、一昨日東北大学の江刺教授とともに研究分野の特定、計画などを決める話し合いが行われたそうです。そして2011年2月には東京で行われる「ナノテク東京」の際にも企業と何かしらの活動をオーガナイズすることを考えており、仙台市で日本企業との会合といったことも考えています。この展示会にはピエモンテとしては3回目の参加となります。

2011年9月にはそのミッションと交流を、今度は「第2回ナノフォーラム」の際にトリノで行いたいと考えており、企業のミッション団に訪問してもらう予定です。既に今回も、月曜日と火曜日にはナノテクノロジーのみならず、他のテクノロジーも含めたいくつかの企業訪問がピエモンテで行われました。

我々が考えている関係スキームというのは、産業クラスター同士だけではなく、クラスターと企業、企業同士など様々なチャンネルを通じた多様なものです。私は投資誘致機関のものですが、主な目的はテクノロジー協力というのがベースとなり、まず共通、相互的な興味や利益といったものを培っていき、そこから投資のステップへ進んでいきたいと思っております。まず、ピエモンテと宮城の企業同士がテクノロジーにおいて協力関係を築き、中長期目標としては投資を促進していきたいと思っております。資材やサービスの商業交流も勿論このスキームに含まれています。

以上です。ありがとうございました。